

第2学年 道徳科学習指導案

1 主題名 おせちのひみつって何だろう (C 伝統と文化の尊重)

教材 「おせちのひみつ」

2 本時の目標

さまざまなおせち料理に込められた意味を知ることを通して、昔から伝わるものや料理には、どんな願いが込められているのかを考えさせ、伝統や文化に親しみ、愛着を持つようとする心情を育てる。

3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
きづく (3)	<p>1 あなたはおせち料理について何か知っていますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいと価値への方向付けを図る。 ・活動3からの時間を確保するため、2, 3名の児童を指名するに留める。 ・主題についての問題意識をもたせるために、学習テーマを設定する。 ・教材「おせちのひみつ」にある写真を貼付し、重箱や各々の料理に込められた願いを知っているかを問う。 ・児童の経験や知識を把握する。 ・日常生活と結びつけながら考えることができるように、家族と作ったり、食べたりした経験を話すよう促す。 ・おせち料理の意味を知っている児童には、なぜ知っているのかを聞く。 ・おせちに触れたことがない児童も授業に参加できるよう、給食に出てきたものを例に挙げたり、おせちの広告等を見せたりする。 ・日本の伝統的な行事について、多角的多面的にとらえたり、視野を広げたりするために、おせち以外にも昔から受け継がれてきたものはないかと問う。
つかむ (8)	<p>2 おせちのひみつを知っていますか。</p>	
しる (10)	<p>3 おせちのひみつを知って、むかしから伝わるぎょうじについて考えよう。</p>	
ふかめる (10)	<p>4 おせちのひみつを知って、あなたはどんなことを考えましたか。</p>	
ひろげる (14)	<p>5 おせち料理の他に、願いを込めて作られた日本のものを知っていますか。</p>	

4 評価

おせちに込められた意味を知り、それに対する自分の考えを持つことで、日本の伝統的な文化に親しみや愛着を持ち、自分の生活につなげて考えられていたか。

(活動3、4、5の発言や様子、プリントの記述から)